

# Asia Satellite Business Week 参加報告

2022年6月13日



大石 強



## 目次

概要	2
感想・分析	2
主な議論及び発言等	2
(1) Connectivity 実現には、地上価格低減による低価格ソリューションが鍵	
(2) Multi-Orbits システムは、いずれは他社衛星を含めた形態までに発展？	
(3) 衛星の“Flexibility”は、既にスタンダードに	
(4) 地上システムは、衛星に追隨して Revolution／平面アンテナの価格低減は、当面見込み薄	
(5) 小型衛星分野におけるパーティカルインテグレーション	
(6) 日本企業のパネルディスカッションへの参加	
展示	4
ちよつと一言（番外編）	5

## 概要

Asia Satellite Business Week (ASBW)は、2022年6月1日(水)~3日(金)の3日間にわたり、シンガポール・エキスポを会場として開催された(ユーロコンサルと Informa Tech 共催)。従来から開催されていたサテライト・アジアのカンファレンス部分が発展・独立したもので、ASBW という名前の下では、初開催となった。

尚、サテライト・アジアは衛星通信主体であったが、ASBW では、軌道上ロジスティクス、さらには、コネクティビティ、リモートセンシング/地球観測及び人工知能等を含むホットなトピックをテーマとして開催された。



期間中、45名の著名な業界スピーカーが登壇し、日本からの複数企業を含む38カ国から210人以上のグローバルな宇宙及び衛星の主要プレーヤーが参加し、カンファレンスとともに、ネットワーキング及びパートナーシップ構築の場ともなった。

## 感想・分析

アジア地域は、ユーロコンサルのレポート「Satellite Connectivity and Video Market」においても、今後10年間で衛星キャパシティの観点から最も成長が期待される市場として予測されている。今回 ASBW 会場となったシンガポールにおいては、今年に入り、同予測を裏付けるように、スピーカーとして参加した各企業の下表のような動きもみられる。

オペレータ	時期	内容
スカパーJSAT	1月	アジアでの宇宙事業強化に向け、シンガポール支店を新設。4月以降、スタッフが現地入り。
インマルサット	5月	GEO、LEO 衛星及び地上 5G の統合ソリューション実現を目標としたシステム Orchestra の技術実証実施。 ・・・Maritime トラフィックがデンスであり、大雨や高湿度などの赤道気象条件に伴い最も要求の厳しい環境の 1 つであるため、実証場所としてシンガポール選定
Thuraya	6月	アジア太平洋地域で衛星通信のリーダーシップ 15 周年を迎える中、シンガポールに新オフィスをオープン。

今回のカンファレンスでは、アジアを含む未接続地域における“Connectivity”実現の重要性、また、それを実現する上での“Multi-Orbits”及び“Flexibility”という言葉が繰り返し使われ、これら3つが、衛星及び地上を通じた共通のキーワードであった。

カンファレンスにおいては、衛星通信に加え、宇宙産業全般の ECO システムがカバーされ、今後の ASBW の発展及び深化の可能性を予感させる内容となり、初開催としては、絶妙なタイミングであったと思われる。

筆者も2年半超ぶりの海外出張となったが、久方に対面形式のカンファレンスに参加し、会場における臨場感及び参加者との直接のフェース・ツー・フェースでの交流を通じたネットワーキングの重要性を改めて認識した。今年9月にパリで開催予定の WSBW を含め、今後、このような機会が増加していくことを期待している。

## 主な議論及び発言等

<以下略>

### (1) Connectivity 実現には、地上価格低減による低価格ソリューションが鍵：

<以下略>

### (2) Multi-orbits システムは、いずれは他社衛星を含めた形態までに発展？：

<以下略>

### (3) 衛星の“Flexibility”は、既にスタンダードに：

<以下略>

### (4) 地上システムは、衛星に追従して Revolution / 平面アンテナの価格低減は当面見込み薄

<以下略>

## (5) 小型衛星分野におけるパーティカルインテグレーション:

<以下略>

## (6) 日本企業のパネルディスカッションへの参加:

<以下略>



スカパーJSAT下間GM(右端)



アクセルスペース 中村社長 (右から2人目)

## 展示

<以下略>



衛星オペレータ各社の展示ブース



衛星オペレータ展示ブースと隣り合ったアストロスケールの展示ブース

## ちょっと一言 (番外編)

出張時の悩みであると同時に、楽しみでもあるのが、ホテルの選定である。

シンガポールへの3回目の出張であったが、シンガポールは、地下鉄がよく整備されていることから、第一の条件は、地下鉄の駅に近いこととした。それとともに、現在のコロナ禍における特有条件であるPCR検査の陰性証明入手のため、近くに同検査を受けられるクリニックがあることを第二の条件とした。さらにホテルレート、買い物及び食事を考慮した結果、リバーサイド地区に宿泊することとした。

同地区は、川沿いにレストラン及びワインバー等が軒を連ねており(前述の選定条件は後付け?)、夕方のそぞろ歩きには最高である。



また、ホテルから、地下鉄の駅に向かう道の右手には、シンガポールのランドマークの1つであり、世界最大の屋上プールで有名なマリーナベイサンズを望むことができ、正に気分は、シンガポール!

総合的には、ナイスなホテル選定であった。

本報告書へのお問い合わせは：



株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク

<https://sat-biznet.com/contact-us/>

大石 強



ユーロコンサル日本事務所

<https://www.euroconsult-ec.com/contact-us/>

大石 強